

A. 主な動き

1. 内政

ティモシェンコ前首相に対する刑事訴追等

・9日、キエフ控訴裁判所は、「クリヴィー・リグ鋼鉄工場」社に対する売買契約の付属文書署名に関するティモシェンコ前首相の命令を違法とする訴訟を棄却した、2010年10月11日付キエフ地区行政裁判所判決を破棄。

・11日及び15日、キエフ市ベチェルスク裁判所は、ティモシェンコ前首相に対する刑事訴追の審議を実施。キレイエフ裁判官は、11日、ティモシェンコ前首相側の請求に基づいた弁護人の交替を許可、審議妨害を理由にNUNS議員の退出を命令、15日、法廷侮辱を理由にティモシェンコ前首相の退出を命令、審議のTV中継及び写真撮影を禁止。

・13日、ティモシェンコ前首相は、自らに対する訴追開始を不服とし欧州人権裁判所に提出した訴状を公表、ヴラセンコBYT議員及びブシュチェンコ弁護士が欧州人権裁判所における同前首相の代理人を務める旨発表。

ルツェンコ前内相に対する刑事訴追等

・11日及び14日、キエフ市ベチェルスク裁判所は、ルツェンコ前内相に対する刑事訴追の審議を実施。ヴォウク裁判官は、11日、ルツェンコ前内相弁護人による同訴追の捜査過程への差し戻し請求を却下、14日、審議妨害等を理由にルツェンコ前内相の退出を命令、審議のTV中継及び写真撮影を禁止。

大統領・政府の動き

・12日、ヤヌコーヴィチ大統領は、ブリズニク・ドネツク州知事の地域発展・建設・公共サービス相への任命、シシャツキー・ドネツク州議会議長のドネツク州知事への任命に関する大統領令を発出。

・12日、ヤヌコーヴィチ大統領は、行政改革の第一段階がほぼ終了したとし、同第二段階は地方行政府の機関再編となる旨発言。

その他

・10日未明、リヴネ州ドゥプロヴィツク地区の高齢者向け施設において火災が発生、16名が死亡。同日、ヤヌコーヴィチ大統領は、クリューエフ第一副首相兼経済発展・貿易相を責任者とする政府調査委員会を設立。

・11日、チギブコ副首相兼社会政策相は、今秋の最高会議への提出に向けて閣僚会議は新たな諸改革案(労働法改革及び第二の年金改革等)を作成中である旨発言。

・13日、国家保安庁は、3日に16年ぶりにロシアより帰国したメシコフ元クリミア自治共和国大統領を、大衆扇動の疑いで拘束した旨発表。同日、クリミア地区行政裁判所は、同

元大統領の国外追放及び5年間の入国禁止を決定。

世論調査

[キエフ国際社会学研究所]

・近日中に最高会議選挙が実施された場合の政党支持率(投票意思が無い者を除く、括弧内は5月時点)

地域党:24.8%(27.5%)、BYT:20.1%(21.1%)、「変化の前線」党:14.1%(14.1%)、「強いウクライナ」党:7.9%(5.5%)、共産党:7.3%(6.2%)、「ウダール」党:5.7%(6.1%)、「スヴォボダ」運動:4.7%(5.3%)

・近日中に大統領選挙が実施された場合の候補者支持率(投票意思が無い者を除く)

ヤヌコーヴィチ大統領:27.5%、ティモシェンコ前首相:19.8%、ヤツェニユク「変化の前線」党首:16.0%、チギブコ副首相兼社会政策相:7.8%、シモネンコ共産党党首:5.3%、クリチコ「ウダール」党首:4.8%等

・調査は6月10日から20日にかけて2,040名の成人を対象に実施。標準誤差は1.4%以内。

2. 経済

マクロ経済

・11日、国家統計局は、1～5月期の貿易収支赤字額を対前年同期比26億4,450万ドル減の46億2,590万ドルと発表。

・14日、国家統計局は、2011年上半年期における国内の乗用車生産台数を対前年同期比66.5%増の4万5,400台と発表。

・15日、ドゥシアク国家税務局所得税局長は、2010年に100万グリブナ以上の所得申告を行ったウクライナ市民は6,661名(対前年同期比8.2%増)、申告者の多い州はキエフ963名、ドニプロペトロフスク567名、ドネツク465名、ハリコフ370名と発表。

政策

・14日、アニシチェンコ保健相は、最高会議が採択したヴィンニツァ、ドニプロペトロフスク、ドネツク及びキエフにおける保健制度改革パイロット・プロジェクトを2013年末までに終了させ、2014年には保健制度改革を開始する旨発言。

・14日、ウクライナ自由貿易連合会議(CFTUU)は、ヤヌコーヴィチ大統領に年金改革法案への拒否権行使を求めるとともに、拒否されない場合にはあらゆる手段を使って法案破棄を求めるとの旨発表。

農業

・12日、デミドフ農業政策・食料省食物耕作市場局長は、6月下旬から7月上旬にかけての雨天のため、穀物の7.7%

がダメージを受けた旨発言。

・13日、クリューエフ第一副首相兼経済発展・貿易相は、2011～2012市場年には2,000万トンの穀物輸出(小麦は900万トン)が可能との見通しを発表。

・13日、ノマニ・エジプト商品供給庁次官は、エジプトは小麦の輸入元の多様化を望んでいるとし、適格な小麦供給者リストへのウクライナとルーマニアの追加を計画している旨発言。

EURO2012

・11日、ウクライナ貿易組合(UTG)は、EURO2012開催までに、9つのホテルを開業予定と発表。その内、5つ星が3つ(Fairmont Grand, Hilton等)、4つ星が5つ(Holiday Inn, Ramada Encore, Leipzig等)、3つ星が1つ(Ibis Hotel)。

・14日、経済発展・貿易省は、EURO2012サッカー開催によって国内の実質成長率が0.8%押し上げられる見込みと発表。

ガス問題

・8日、ヤヌコーヴィチ大統領は、ナフトガスと露ガスプロムの合併は計画されていない、現在予定されているのは、両社のウクライナのガス輸送システム近代化プロジェクトへの参加に代表される共同プロジェクトの実施である旨明言。

・12日、ボイコ・エネルギー-炭炭産業相は、ミレル露ガスプロム社長と会談、ガス分野における協力、現行のガス価格契約等につき協議。

・13日、ナフトガスは、国内ガス市場の調査を米国「IHS CERA」社に依頼、同調査を基に国内の天然ガス採掘への投資拡大に向けた戦略を策定する方針と発表。

その他

・11日、国家獣医学・バイオセキュリティ・サービスは、EUからの植物の輸入に関して、大腸菌検査を実施したことを示す公的機関の公式文書がないものについては、これを一時的に禁止する旨発表。

3. 外政

9日、ルプ・モルドバ大統領代行の来訪

・ヤヌコーヴィチ大統領は、ルプ・モルドバ大統領代行と会談、オデッサ・レニ間の道路区画の所有権、二国間関係の強化、欧州統合分野での協力強化、政府間貿易経済協力委員会の活動再開等につき協議。

・双方は、二国間関係のあらゆる分野で協力を推進していく旨謳った共同声明に署名。

13～14日、グリシチェンコ外相のトルコ訪問

・13日、グリシチェンコ外相とダーウトオール・トルコ外相が議長を務め、二国間戦略計画グループ会合が開催、本年11～12月に予定されるハイレベル戦略会議の準備状況、2011～2013年のウクライナ・トルコ協力行動計画等につき協議。

・13日、グリシチェンコ外相は、バギシュ・トルコEU担当相と会談、両国の欧州統合プロセス、EU内の状況、地域・国際

情勢等につき協議。双方は、欧州統合分野における経験を共有していくことで合意。

・14日、グリシチェンコ外相は、チャヴシュオール欧州評議会議員会議議長と会談、欧州評議会とEU間の協力に関する諸問題、欧州評議会内の諸問題につき協議。双方は、EUによる欧州評議会のプロジェクト参加の重要性を強調。

14～15日、グリシチェンコ外相のグルジア訪問

・14日、グリシチェンコ外相は、サーカシヴィリ・グルジア大統領と会談、政治対話の強化及び貿易経済分野での協力強化を中心とした二国間関係、ウクライナの国内改革、国際情勢等につき協議。双方は、近く二国間経済協力委員会会合を開催することで合意。

・15日、グリシチェンコ外相は、ヴァシャゼ・グルジア外相と会談、二国間関係、政府間経済協力委員会の活動、両国の欧州統合プロセス等につき協議。

その他

・9日、ヤヌコーヴィチ大統領は、メドヴェージェフ露大統領と電話会談を実施、国家間委員会会合及び二国間関係の喫緊の諸問題につき協議。

・11日、ヤヌコーヴィチ大統領は、パロソ欧州委員会委員長と電話会談、ウクライナ・EU連合協定交渉の進展、EU査証廃止のための行動計画実施状況、9月に開催予定の東方パートナーシップ・サミット等につき協議。

・13日、EUは、グッド・ガバナンス及び法の支配、連合協定発効、持続可能な発展の分野における機構改革のためウクライナに対し3,000万ユーロを供与。

・14日、エリセーエフ駐EUウクライナ大使は、ウクライナは、連合協定交渉において、全EU加盟国の了解は得られていないが、ウクライナの将来的なEU加盟の展望を本文に盛り込むよう要求している旨コメント。

4. 防衛

NATO

・12日、外務省は、ウクライナとNATOの関係は非常に高いレベルに到達しているとし、ロシアとの友好関係の発展とNATOとのパートナーシップの発展の間には何ら矛盾はなく、両関係とも発展させる意向である旨のコメントを発表。

武器輸出

・14日、マルイシェフ記念工場(元ハリコフ機関車工場)取締役代行は、イラクへの最初のBTR-4装甲兵員輸送車26両が5月29日に到着し、2回目の62両の出荷が年末までに行われる旨発表。

13～14日、マカロフ露参謀総長の公式訪問

・13日、エジェリ国防相は、ウクライナ公式訪問中のマカロフ露参謀総長とウクライナとロシアの軍事協力の今後の見通しについて議論、ウクライナとロシアの防衛協力はよりハイレベルなものであるべきと発言。エジェリ国防相は、ロシアによるニコカ訓練施設使用、AN-70、コルベット艦プロジェクトの3点に注意が払われた旨発表。

・14日、エジェリ国防相は、ロシア国防省がコルベット艦の共同建造を検討するよう提案。

その他

・12日、外務省は、ウクライナとベラルーシが外交官を互いに国外追放したという報道に対しコメントしない旨発表。

(了)